

## 平成28年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市水族館】

施設名	新潟市水族館			
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成29年3月31日	
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課			
所在地	区名	中央区	住所	西船見町5932番地445
根拠法令	-			
設置条例	新潟市水族館条例			
施設概要	設置：平成2年7月(平成25年7月リニューアル) 施設規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階・地下1階、敷地面積40,171㎡・延床面積11,491.84㎡ 施設内容：アプローチ棟、本館(日本海大水槽(800トン)、個水槽、体験・学習ゾーン、休憩室(大人150人)、イルカショープール、屋内プール、別館、マリンサファリ、ペンギン海岸、にいがたフィールドなど 料金区分：大人1,500円、小人600円、幼児200円			

施設設置目的
魚類、海獣その他の水生動物に関する知識を広め、魚類等への親しみを深めることにより市民の教養と健全な余暇の活用 に資するため

管理・運営に関する基本理念、方針等
運営指針 1. 環境と生物との出会い 水族館敷地は、日本海を望み松林に囲まれた良好な環境にあることから、水族館はそこに立地するにふさわしい環境と生物との出会いの広場とする。 2. 新鮮な感動と豊かな情操を育む 生命を知ることにより得られる新鮮な感動を通じて、次代を担う青少年の情操に資する水族館とする。 3. 種の保存と自然保護 飼育技術の一層の向上と国内外の水族館・動物園・水産研究所との情報交換などにより、水族館の社会的使命である「種の保存」と「自然保護」の啓発に努める。 4. 学習の場として 小中学生を主体とした児童・生徒が、生物の生態を学習できると同時に、入館者の様々な知的欲求にも答えることのできる博物館的機能を備えた水族館とする。 5. レクリエーションの場として 文化的レクリエーション施設として、楽しく学習できるよう娯楽性を取り入れる。 6. 「水の都、にいがた」のシンボルとして 日本海、信濃川など「水の都、にいがた」を特色づけている自然と風土を生かしながら、対岸諸国をはじめ世界の魚類や海獣類等を紹介し、環日本海の拠点都市にふさわしい水族館とする。 (開館当時策定の運営指針「マリンピア日本海10年のあゆみ」より)

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	ホームページアクセス件数年間20万件以上	トップページへのアクセス件数1,535,167件…評価指標より804,210件多い	A	目標を大きく上回り、評価できる
		ホームページ更新件数1か月5回以上	月平均22.5回	A	目標を大きく上回り、評価できる
		県外向け広告を行うこと	山形、福島、群馬、長野、埼玉への折込広告、テレビCM、FMラジオCM	A	目標を大きく上回り、評価できる
	基準利用者数の達成	入館者数年間56万人以上	525,008人…評価指標より34,992人少ない	C	近隣の水族館やリニューアル効果の薄れによる影響はあるが、利用者増加に向け工夫してほしい。
	各種サービス別満足度	「館内アンケート」の「展示内容(生物)に対する満足度」で「満足及び非常に満足」が2/3以上	満足及び非常に満足…94.2%	A	非常に高い満足度で評価できる
		「館内アンケート」の「ショーに対する満足度」で「満足及び非常に満足」が2/3以上	満足及び非常に満足…91.8%	A	非常に高い満足度で評価できる
		「館内アンケート」の「接客に対する満足度」で「普通」以上が2/3以上	普通以上…97.4%	A	非常に高い満足度で評価できる
		「教室参加者アンケート」で「満足及び非常に満足」が2/3以上	満足及び非常に満足…96.7%	A	非常に高い満足度で評価できる
	苦情・要望に対する対応	苦情、要望には速やかに対応	アンケートに記載されていた提案の実現	A	
	事業等の実施	体験・学習ゾーンでのプログラム参加者数2,000人以上	磯のいきもの解説、アクアラボ体験参加者4,000人以上	A	目標を大きく上回り、評価できる
設置目的に合致した事業を年間12企画以上実施		31企画…いきもの教室12企画、特別展示8企画、ナイトツアー、田んぼ体験、その他9企画	A	年間目標の2倍以上の企画を実施しており、評価できる。	

	自然・環境保護活動の実施	自然保護団体等の活動への協力	地元保護団体の観察会への協力、シンポジウムへの協力	A	
		専門的な研究の報告3件以上	「受動動作におけるバンドウイルカの抜歯」等5件	A	目標を上回り、評価できる
	社会教育活動の実施	ボランティア会員の活動件数を年間12件以上	登録者数87人、活動日数219日、延べ活動人数586人	A	目標を大きく上回り、評価できる
		総合学習の受け入れ年間40団体以上	31団体550人	C	目標数値から下回っているため、受入れ周知に努めてほしい。
		実習生の受け入れ年間15人以上	25人	A	目標を上回り、評価できる
財 務	管理運営経費の節減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	必要な物品購入や委託、修繕工事等を十分精査し経費削減に努めた。	B	
	市の歳入の増加	使用料収入を年間560,000千円以上	459,040,376円…評価指標より100,959,624円少ない	C	目標よりも大きく下回っているため、使用料増加に向け努めてほしい
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守		B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	翌月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	翌年度4月30日までに提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告を受けずに業務を実施	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	緊急連絡網、危機管理フロー	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	防災訓練年1回実施	防災訓練年2回実施、非常放送を用いた館内放送を実施	A	目標を上回り、評価できる
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	係長以上へのレクチャーと資料回覧による研修	B	
	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	問題なし	B	
人 材	配置人員条件の充足	業務の基準に定める有資格者を配置しているか	業務基準及び業務に必要な有資格者を配置	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	接遇研修を年1回以上実施	外部講師による接遇研修1回実施、受付マニュアル作成	B	
		館内研修を年2回以上開催	化学薬品取扱研修 個人情報取扱研修	B	
		研究会や研修会等に参加	(公社)日本動物園水族館協会主催の各種研修会などに参加	B	
労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	問題なし	B		

#### 指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成事項への改善策等)

平成28年度の入館者数は、リニューアル効果が薄れていく中で525,008人のお客様にお越しいただき、対昨年度比99.2%とほぼ同水準の結果であった。評価指標の「560,000人以上」を下回ったが、平成11年の667,844人からリニューアル前まで、500,000万人を超えたことがなかったことから、リニューアルから4年続けて500,000人以上を維持できたことは、一定の水準を達成できたと考えている。昨年度に引き続き、年間パスポートの宣伝を積極的に行ったことで、リニューアルオープン年度の11,097人を上回り過去最多の12,456人のお客様から購入していただいた。入館料収入においては、459,040,376円と昨年度より、19,938,662円減少した。

専門的な技能を持った職員を配置し、水族館の社会的使命を果たすとともに、ハンズオン展示や教育効果の高いプログラムを閑散期等の新規プログラムを含め数多く実施した。来館者が快適な時間を過ごせる場を提供するとともに、効率的で円滑な運営に努めた。また、継続して毎月実施したお客様アンケート調査でも展示生物や解説プログラムは高評価を受けている。

経費については、リニューアル工事で未着手だった建物・設備で不具合が依然として発生しており、その都度修繕工事を行い経費が嵩んだ。その他で経費を押さえるため、光熱水費について特に夏場の節電対策を積極的に行い、指定管理者として出来る限り節約に努め適切に執行した。

平成29年度から2年間の指定管理は、新潟市開発公社(以下、公社)から分社した新潟市海洋河川文化財団(以下、財団)が公社との共同事業体で指定を受けた。水族館職員のほとんどが財団へ移行したため、2年間は公社の支援を受けながら、開館当初から培ってきた豊富な知識と経験を生かし、多くのお客様に満足していただけるよう職員一丸となって頑張っていきたい。

#### 所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

年間入館者数の評価指標は下回ったものの、4年続けての500,000人以上の維持、年間パスポート購入者の増加は評価できる。また、設置目的に合致した企画を目標以上に実施し、アンケートでのお客様からの満足度も高い。  
リニューアル効果が薄れていく中での集客増加に向けた工夫に期待する。

#### 評価基準

- A 要求水準(=評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準(=評価指標)が達成されている。
- C 要求水準(=評価指標)が達成されていない。